



SOUTEN No.380

本日(1)に、鹿屋体育大学体育学部2022名、大学院体育学研究科26名の新生を迎え、令和7年度入学式を挙行できますこと、教職員ならびに在学生にとりまして、大きな喜びとするところであります。本日まで、ご子息・ご恩女を温かく見守り、ご支援を惜しまれなかった保護者の方々をはじめ、関係各位の皆様方には心からお礼申し上げます。

鹿屋体育大学は、国立大学唯一の体育系単科大学として「スポーツで未来を拓く」を自己創るをスローガンに、我が国のスポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する教育と研究を推進させるという

使命をもった大学です。新生の皆さんは、本日より鹿屋体育大学の学生として、新たなスタートを切るわけですが、皆さんは、本学で何を学び、どのような夢を実現しようとして、この場に臨んでいますか？大学での学びは、卒業に必要な単位を取ることだけがゴールではありません。大学とは、自ら課題を立て、その解決策を探る力、そして自ら考案した解決策の効果を検証する力を鍛えることです。

学部生の皆さんが歩む学生アスリートとしての活動と学びの道は、決して平坦なものではありません。皆さんは、日々努力する過程において、様々な身体的、技術的、あるいは心理的な課題に直面し、それを克服するための試行錯誤を繰り返すことになると思います。しかし、その試行錯誤は、皆さん一人一人にとって、課題の要因を整理し、解決する力を鍛える良い機会なのです。

大学での学びをスタートするにあたり、皆さんにまず考えていただきたいことは、課題に対するアプローチを模索する際の情報通信機器や生成AIの活用についてです。皆さんご存じのように、近年の情報通信技術の進歩や生成AIの登場は、我々のライフスタイルに大きな変革をもたらしつつあります。スポーツの領域においても、トレーニングやコーチング、あるいは個人やチームの戦術及び戦略の立案には、様々な科学技術が関与しています。また、個人レベルで大量の情報ややり取りや取得が非常に容易になりました。皆さんも課題解決のためのアプローチを模索するうえで、検索機能や生成AIを大いに活用することになるでしょう。

その一方で、情報を容易に得ることができるといふ状況は、得た情報を吟味することなく、課題に対し安易な答えを導くという事態を生み出しやすいことも事実です。そのような場合に、仮に課題の解決策を立てたとしても、それは実情に見合うものとはならず、解決策そのものには、本来備えるべき独創性、創造性といった要素が含まれないこととなります。

皆さんは、スポーツや武道を実践するうえで基本的な力をすでに持っています。それは皆さんの独自性を示す優れた能力であり、皆さんは、実践を通して、参考にした情報の確かさや考案した解決策の効果を確認すること

ができると同時に、それらの結果を踏まえ、更なる高みに向けたアプローチを考えるヒントを得ることができるようになります。

学部生の皆さんが学生アスリートとして取るべき学びの形、すなわち自身の競技活動における課題の明確化、具体的な解決策の探索、そして実践を通しての確認という一連のプロセスをたゆみなく継続することで、皆さんは、これからの時代のスポーツや武道の指導・普及を担う者におさわり独創性、創造性、そして論理的思考力を身につけた人材へと成長を遂げることができると考えます。

鹿屋体育大学は単科大学であり、他の総合大学に比べ幅広く学ぶ、ということには限界があるかもしれませんが、しかし、スポーツ・武道及び体育・健康づくりの領域において、「する」だけではなく、「みる」「やる」「つくる」は、よくむとといった視点から、自身の可能性を追求し能力を最大限高めるうえで、本学は多くの優れた条件を備えた大学です。是非、本学の長所を生かして切る学生生活を送ってください。

皆さんがこれからの学生生活を送るうえで基盤となる、この大隅の地は自然が豊かであり、鹿屋市をはじめとする周辺地域の皆様方は、学生諸君を温かく迎え、様々な形で支援してください。是非、大隅の地を第2の故郷と思い、頑張ってください。

最後になりましたが、本日、令和7年度入学式を挙行するにあたり、ご来賓の方々並びに保護者の皆様方のご列席を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。新生の皆さんへの告辞とします。



令和7年度
鹿屋体育大学入学式
学長告辞
鹿屋体育大学長 金久 博昭

羽ばたけ 大空へ

新聞財団

編集：鹿屋体育大学
発行：公益財団法人鹿屋体育大学
体育・スポーツ振興教育財団
編集責任者：鹿屋体育大学長
発行人（発行責任者）：財団理事長 風呂井 敬
財団事務局：〒891-2393 鹿屋市白水町1番地内 0994-46-4827(直)

決策の効果を確認すること

宣言の言葉

令和7年度新入生代表 橋本 陽菜
体育学部武道課程
(中村学園女子高等学校・福岡、山口県出身)

在学生歓迎の言葉
第42代 体育会会長 國光 元就
武道課程2年
(福岡県立北筑高等学校・福岡)

私たち
・体育学部
・スポーツ総合課程
131名
・武道課程
51名
・第3年次編入生
合計 228名は、入

スポーツ総合課程
20名
・大学院
・体育学研究科
・体育学専攻 修士課程
16名
・博士後期課程
6名
・スポーツ国際開発学
・共同専攻 修士課程
2名
・大学体育スポーツ高
・度化 共同専攻
3年制博士課程
2名
合計 228名は、入

春の日差しに暖かさを感じ、季節となりました。新生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在学生一同、心より歓迎申し上げます。

今日、皆さんは新しい学びをここ鹿屋体育大学でスタートさせます。

大学生活では自ら学ぶことの楽しさを知ることで、仲間と共に高め

合つことのできる環境が十分にそろっています。新しい仲間と出会い、様々な活動を通して、ぜひ自分自身の可能性を広げてください。全国各地から集まった仲間と共に、勉学や部活動をはじめ多方面から刺激を受け、互いに高め合っていくことを期待しています。

新しい環境では、初めてのことに戸惑いが多いことと思いがちです。しかし、大切なことは、失敗を恐れず「挑戦する」ということです。失敗を恐れず、多くのことにチャレンジすれば、新しい発見や成長を得ることができます。大学生の間は、様々なことに挑戦できる貴重なチャンスです。自分がやってみたいこと、やり遂げたいことを見つけて、積極的に取り組み、全力で突き進んでください。

最後にありますが、大学生活は今までに比べ、どう過ごしていくのかを自分で決めることができ、そこに楽しさや価値を生み出すことができます。平等に与えられた時間の使い方は皆さん次第です。数年後、自分が理想とする姿に、一歩でも近づけるよう、一日一日を大切に過ごしてください。そうすれば内容の濃い学生生活を送ることができ、これからの人生の大きな弾みとなることでしょう。

皆さんの活躍をお祈りしつつ、在学生一同、お祝い申し上げます。歓迎の言葉とさせていただきます。

ました。金久学長をはじめとする諸先生方、そして本日まで私たちを支えて応援してくださいました方々、家族、仲間、鹿屋体育大学での学びの機会を与えてくださったことに深く感謝申し上げます。

これから始まる大学生活においては、学則及び関係規則を遵守するとともに、本学創設の趣旨にのっとり、品位を保ち続けます。また、実践的な体育指導者等、それぞれの目標や夢に向かって、学業及び競技力の向上に励むこと、また、市民性、国際性を備えたりリーダーを目指し努力することを、ここに誓います。

ました。金久学長をはじめとする諸先生方、そして本日まで私たちを支えて応援してくださいました方々、家族、仲間、鹿屋体育大学での学びの機会を与えてくださったことに深く感謝申し上げます。

これから始まる大学生活においては、学則及び関係規則を遵守するとともに、本学創設の趣旨にのっとり、品位を保ち続けます。また、実践的な体育指導者等、それぞれの目標や夢に向かって、学業及び競技力の向上に励むこと、また、市民性、国際性を備えたりリーダーを目指し努力することを、ここに誓います。

スポーツを愛する人たちへ

(公財)ミズノスポーツ振興財団は「日本国のスポーツの振興に必要な事業を行い、さらなる国民の心身の健全な発達に資する」を目的とし、その活動は50年以上にわたります。

具体的には、スポーツの普及振興やスポーツの国際交流の発展に対する助成、スポーツに関する科学的・学術的・医学的研究に対する助成、優秀なスポーツ指導者やスポーツライターを顕彰する事業などを行っており、その助成累計額は約86億円に及びます。

Mizuno
公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団



風呂井理事長から
令和7年度冠スポーツ奨学金証書を
授与される学生



令和6年度の受給者を代表して
挨拶する田邊さん

公益財団法人鹿屋体
育大学体育・スポーツ振
興教育財団では多額の寄
附をいただいた企業・
団体等の皆様の名称を冠
した奨学金として、国内
外の競技大会で優秀な成
績を収めた学生や競技団
体に対して給付していま
す。

3月21日に、令和6年
度に国内外の競技大会
で優秀な成績を収めた
学生、団体に対して「冠
スポーツ奨学金贈呈式」
が行われ、受給者個人33
名、3団体を代表して体
操競技部の田邊友唯さ
ん（スポーツ総合課程4
年）に風呂井敬理事長か
ら奨学金が手渡されまし
た。

また、4月4日の令和
7年度鹿屋体育大学入学
式終了後には「冠スポ
ーツ奨学金証書授与式」が
行われ、令和7年度の冠
スポーツ奨学金給付者の
企業16社の代表者から風
呂井理事長へ奨学金目録
が授与された後、全日本
又は国際試合などで活躍
している将来有望な学生
3名に対し、冠スポーツ
奨学金証書の授与が行わ
れました。

冠スポーツ奨学金給付
企業の皆様の多大なるご
協力に、この場を借りて
心からの感謝と御礼を申
上げます。

冠スポーツ奨学金 対象学生が決定

陸上競技部	2024日本学生陸上競技個人選手権大会	大園倫太郎	男子3000m障害	1位	
		岡村 颯太	男子800m	1位	
体操競技部	第63回NHK杯体操	津村 涼太	男子あん馬	1位	
	第78回全日本学生体操競技選手権大会	田邊 友唯	男子総合	1位	
水泳部	第100回日本学生選手権水泳競技大会	久保田梨琉	女子50m自由形	2位	
		市村 優弥	男子50m自由形	2位	
		後野 真衣	女子200mバタフライ	3位	
自転車競技部	第79回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	中西 美央	女子スプリント	1位	
		津留 峻	男子4km チームパーシュート	2位	
		並江 優作			
		廣田 汰也	男子タンデムスプリント	3位	
		香西 高良			
		谷口慶志郎			
	第93回全日本自転車競技選手権大会トラックレース	梅澤 幹太	男子オムニウム	1位	
		岩元 美佳	女子 チームスプリント	1位	
		年見 穂風			
	第64回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	加藤明日香			
カヌー部	第60回全日本学生カヌースプリント選手権大会	淵 稟碧	女子マディソン	1位	
		久保田桂仙	男子 (C-1) 200m	1位	
			松本 仁心	男子 (K-1) 1000m	1位
			美坂 優宙	男子 (C-1) 1000m	1位
			福島 悠斗	男子 C-1×500mリレー	2位
		上田 桃華	女子 (K-2) 500m	3位	
		植木 春華			
		村橋慶太郎	男子 (K-2) 1000m	1位	
		河野 成玖			
	第14回全日本学生カヌー長距離選手権大会	中道 綺華	女子 (C-1) 200m	2位	
		鳥越 天宮	男子 (K-1) 10000m	1位	
		中園 太陽	男子 (C-2) 10000m	1位	
		城島 寿成			
		土橋 愛花	女子 (K-1) 10000m	2位	
		なぎなた部	第63回全日本学生なぎなた選手権大会	宮城 昭奈	演技競技
村田 凜	試合競技 個人の部			3位	

令和6年度 冠スポーツ奨学金（団体）			
競技団体	大会名	種目	成績
体操競技部	第78回全日本学生体操競技選手権大会	男子団体総合	2位
剣道部	第72回全日本学生剣道優勝大会	男子団体	2位
なぎなた部	第63回全日本学生なぎなた選手権大会	試合競技団体の部	2位

令和7年度冠スポーツ奨学金給付対象学生			
所属団体	氏名	主な競技成績	
陸上競技部	岡村 颯太	日本学生陸上競技個人選手権大会 800m	優勝
自転車競技部	梅澤 幹太	第79回全日本大学対抗選手権自転車競技大会 オムニウム	優勝
	畑 祐太郎	2024UCI 世界選手権大会トラック・ジュニア	出場



まっすぐに。正直に。

大波酒造株式会社

〒893-0016
鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
電話(0994)44-2190 FAX(0994)40-0950

- 〇飲酒は20歳になってから。
- 〇飲酒は楽しく、適量を。
- 〇妊娠中、授乳期の飲酒はお控え下さい。
- 〇飲酒運転は法律で禁止されています。





Kubota 農業機械
株式会社
ミズホ商会

http://www.mizuho.kubota.ne.jp

〒893-0009
鹿児島県鹿屋市大手町12番1号
TEL (0994) 43-4178
FAX (0994) 44-9371

【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

汲取の御注文 浄化槽の管理



水質安全に
全力投球

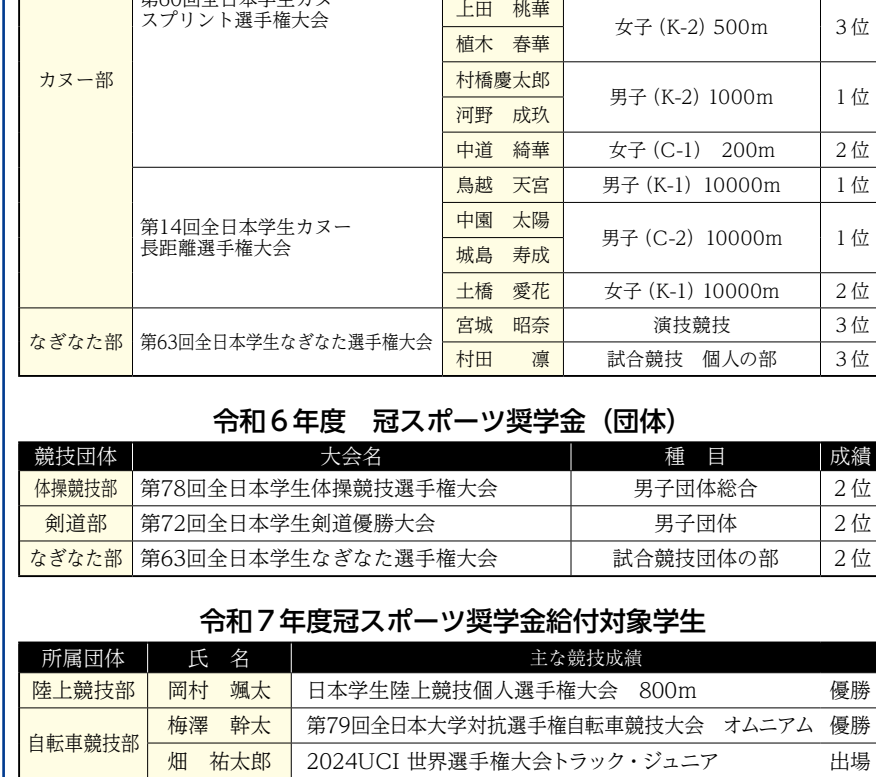
鹿屋市許可 株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL (0994) 43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスがこしま 鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181





入学式が挙行された
4月4日の夜、第25回
鹿屋体育大学新入生
歓迎会を地元商工会議
所などで構成される地
域づくり交流事業実行
委員会（坪水徳郎会長）
から開催していただき
、新入生、教職員約
240名が参加しまし
た。会は坪水会長や中
西茂鹿屋市長からの新
生活への激励と地元市
民との交流への期待等
が込められた歓迎の言
葉でスタートすると、
すでに匂いが充満して
いた焼肉（BBQ）や
カンパチの握りのア
スガ、一挙に駆け寄る新
入生で溢れました。
約90分間の会は、同
市役所勤務の本学卒業
生によるクイズ大会
や、体力自慢の学生の
闘志をくすぐる握力測
定大会等で大盛況。最
後、新入生代表の橋本
陽菜さんが「おいしい
ものをたくさん食べら
れてうれしい。温かい
歓迎を受け、鹿屋に
来てよかったと改めて感
じています」と感謝の
言葉で締めくくりまし
た。

新入生歓迎会を開催 していただきました！

